

登録作物 40種類以上!

アブラムシ類、
アザミウマ類の防除に
定植時の植穴処理。
少ない薬量で長〜い効き目!!



アドマイヤー® ①粒剤



ワタアブラムシ



ニセダイコンアブラムシ



モモアカアブラムシ

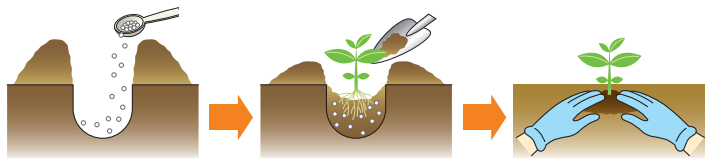


ミナミキイロアザミウマ



オンシツコナジラミ

定植時の植穴土壌混和の方法

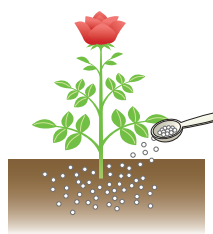


アドマイヤー®1粒剤を
植穴に規定量入れる。

土と混ぜて
苗を置いて土で覆う。

粒と土を混和させるのが
ポイントです。

※各作物での使用量・使用方法は製品ラベルをご確認ください。



花き類の生育期の
株元散布も
便利です。



製品情報の
詳細はこちらから



■適用害虫および使用方法

2021年9月現在の登録内容

作物名 〔 〕は 適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	使用回数*		使用方法	
				本剤	イミダクロプリド		
稲	ツマグロヨコバイ ウンカ類	3kg/10a	収穫7日前 まで	2回	3回（は種時（直播）ま たは移植時までの処理 は1回、本田での散布 は2回）	散 布	
かんきつ （苗木）	ミカンハモグリガ	20g/樹（ただし、 6kg/10aまで）	育苗期	1回	1回	株元散布	
れんこん	イネネクイハムシ	3kg/10a	植付時	2回	3回（植付時の土壌混和 は1回、植付後の処理は 2回）	播溝土壌混和	
	クワイクビレアブラムシ	4kg/10a	収穫14日前まで		2回	3回（植付前の土壌混和 は1回、散布は2回）	散 布
かんしょ	コガネムシ類	4～6kg/10a 6kg/10a	植付前	2回	3回（植付前の土壌混和 は1回、散布は2回）	作条土壌混和 全面土壌混和	
さといも（葉柄） ばいれいしょ		4kg/10a	植付時	1回	3回（植付時の土壌混和 は1回、植付後の処理は 2回）	播溝土壌混和	
豆類（未成熟、ただし、 えだまめ、さやいんげん、未成熟 そらめめを除く）		2g/植穴（ただし、 6kg/10aまで）	定植時	1回	3回（定植時およびは種 時の土壌混和は合計1回、 散布は2回）	播溝土壌混和	
		3kg/10a	は種時			3回（定植時の土壌混和 は1回、散布は2回）	播溝土壌混和
		2g/植穴（ただし、 6kg/10aまで）	定植時			3回（定植時およびは種 時の土壌混和は合計1回、 散布は2回）	播溝土壌混和
		3kg/10a	は種時			3回（定植時の土壌混和 は1回、散布は2回）	播溝土壌混和
えだまめ	アブラムシ類	2g/植穴（ただし、 6kg/10aまで）	定植時	1回	3回（定植時およびは種 時の土壌混和は合計1回、 散布は2回）	播溝土壌混和	
		セル成型育苗 トレイ1箱または ペーパークラフト1冊 （30×60cm、使用 土壌 約1.5～4） 当り50g	は種時			3回（定植時およびは種 時の土壌混和は合計1回、 散布は2回）	播溝土壌混和
さやいんげん		1～2g/植穴（ただし、 6kg/10aまで）	定植時またはは種時	1回	3回（定植時およびは種 時の土壌混和は合計1回）	播溝土壌混和	
未成熟そらめめ		2g/植穴（ただし、 6kg/10aまで）	定植時			3回（定植時およびは種 時の土壌混和は合計1回）	播溝土壌混和
		3kg/10a	は種時	4回（育苗期の株元散布 および定植時の土壌混 和は合計1回、散布およ び常温煙霧は合計3回）	株元散布		
きゅうり	アブラムシ類	1～2g/株	定植時	1回	4回（定植時の土壌混和 は1回、散布は3回）	株元散布	
	アザミウマ類	2g/株				株元散布	
すいか	アブラムシ類	5g/株（ただし、3kg/10aまで） 1～5g/株（ただし、3kg/10aまで）	定植時	1回	4回（定植時の土壌混和 は1回、散布は3回）	株元散布	
	アザミウマ類	1～2g/植穴（ただし、 6kg/10aまで）				株元散布	
メロン	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回	4回（育苗期の株元散布 および定植時の土壌混 和は合計1回、散布は3回）	株元散布	
	アザミウマ類	1～2g/株				株元散布	
かぼちゃ	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回	4回（育苗期の株元散布 および定植時の土壌混 和は合計1回、散布は3回）	株元散布	
	アザミウマ類	1～2g/株				株元散布	
にがうり	アブラムシ類	1～2g/株	定植時	1回	3回（定植時の土壌混和 は1回、散布は2回）	株元散布	
まくわうり	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回	2回（定植時の土壌混和 は1回、散布は2回）	株元散布	
トマト ミニトマト	アブラムシ類	0.5～1g/株	育苗期後半	1回	3回（育苗期の株元散布 および定植時の土壌混 和は合計1回、散布は2回）	株元散布	
ピーマン とうがらし類	アブラムシ類	1g/株	育苗期後半	1回	3回（育苗期の株元散布 および定植時の土壌混 和は合計1回、散布は2回）	株元散布	
	アブラムシ類	1g/株	育苗期後半	1回	3回（育苗期の株元散布 および定植時の土壌混 和は合計1回、散布は2回）	株元散布	
なす	アブラムシ類	1g/株	育苗期後半	1回	3回（育苗期の株元散布 および定植時の土壌混 和は合計1回、散布およ び常温煙霧は合計2回）	株元散布	
	アブラムシ類	1～2g/株	定植時	1回	3回（育苗期の株元散布 および定植時の土壌混 和は合計1回、散布およ び常温煙霧は合計2回）	株元散布	
にら	アブラムシ類	4kg/10a	収穫30日前まで	1回	2回（定植時の土壌混和 は1回、株元散布は1回）	播溝土壌混和	
	アザミウマ類	4kg/10a	定植時			2回（定植時の土壌混和 は1回、株元散布は1回）	播溝土壌混和
（にら） （花茎）	ネギアザミウマ	4kg/10a	収穫30日前まで	1回	2回（定植時の土壌混和 は1回、株元散布は1回）	株元散布	

作物名 〔 〕は 適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	使用回数*		使用方法
				本剤	イミダクロプリド	
わけぎ あさつき	アザミウマ類	4kg/10a	定植時	1回	3回（定植時の土壌混和 は1回、散布は2回）	播溝土壌混和
ねぎ		4kg/10a			3回（定植時の土壌混和 は1回、散布は2回）	播溝土壌混和
はくさい キャベツ		0.5g/株	は種時	2回	3回（定植時までの処理 は1回、定植後の処理は 2回）	播溝土壌混和
ごぼう		4kg/10a			3回（は種時の土壌混和 は1回、散布は2回）	株元散布
だいこん	アブラムシ類	3～6kg/10a	は種時	2回	3回（は種時の土壌混和 は1回、散布は2回）	播溝土壌混和
	ほうれんそう かぶ	4kg/10a			3回（は種時の土壌混和 は1回、散布は2回）	播溝土壌混和
ブロッコリー			定植時	1回	4回（育苗期の灌水は1回、 定植時の土壌混和は1回、 定植後の処理は2回）	株元散布
レタス		0.5g/株	育苗期後半	1回	3回（定植時までの処理 は1回、定植後の処理は 2回）	株元散布
いちご			定植時	1回	1回	株元散布
パセリ	アザミウマ類		収穫14日前まで	2回	2回（定植時までの処理 は1回、散布は1回）	株元散布
		3kg/10a			2回（定植時までの処理 は1回、散布は1回）	株元散布
ごま	アブラムシ類	3～6kg/10a	は種時	2回	3回（定植時の土壌混和 は1回、散布は2回）	株元散布
こんにゃく		6kg/10a	生育期 ただし収穫 21日前まで	2回	3回（定植時の土壌混和 は1回、散布は2回）	葉菜散布
やまのいも	アブラムシ類 コガネムシ類	4kg/10a	植付時	1回	3回（植付時までの処理 は1回、植付後の処理は 2回）	播溝土壌混和
やまのいも （むかご）	コガネムシ類			1回	1回	株元散布
じゅんさい （じゅんさい田）	ユスリカ類	3kg/10a	収穫前日 まで	2回	2回	散 布
たばこ		3kg/10a （1g/株）	植付時	1回	2回（植付時の土壌混和 は1回、散布は1回）	株元散布
花き類 観葉植物 （きく、はな、アサ ギ、シクラメン、 ア、リゲリア、 ア、リゲリアを除く）	アブラムシ類	2g/株（ただし、 6kg/10aまで）	生育期	5回	5回	株元散布
樹木類 （つじ類を除く）	コガネムシ類	4kg/10a	植付時 または 植替時	2回	2回	作条土壌混和
つつじ類	ツツジグンバイ	6kg/10a	発生初期	5回	5回（株元灌水は2回、 土壌混和は2回）	株元散布
きく	アザミウマ類	3kg/10a	生育期	5回	5回	散 布
ペチュニア	アブラムシ類	2g/株（ただし、 6kg/10aまで）	生育期	5回	5回	株元散布
レジャーファン	アザミウマ類	1g/株（ただし、 3kg/10aまで）	定植時	1回	1回	株元散布
ポインセチア	アブラムシ類	2g/株（ただし、 6kg/10aまで）	生育期	5回	5回	株元散布
ばら	アブラムシ類	1g/株（ただし、 3kg/10aまで）	生育期	5回	5回	株元散布

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

■注意事項

- 畜に対して長期毒性があるので、絶対に糞尿にかからないようにして下さい。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにして下さい。本剤の作物への処理後、ミツバチの訪花活動に影響を及ぼすおそれがあるので注意して下さい。
- 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めて下さい。
- さくのみナミキイロアザミウマに使用する場合、生育期後半に使用すると効果が不十分になる場合があるので生育期前半に使用して下さい。
- 本剤をだいこんに使用する場合、間引き菜またはつまみ菜として食用には供さないで下さい。
- トマト、ミニトマト、なす、ピーマン、とうがらし類、きゅうり、メロンの育苗期後半に使用する場合、直径9cm以上のポットで育苗した苗に使用することとし、それ以外での使用は薬害を生じるおそれがあるので控えて下さい。
- かんきつに使用する場合、今期に収穫の見込みのない苗木に使用し、散布後灌水をして下さい。効果発現が遅れることがあるため、対象害虫発生前に使用して下さい。
- 本剤を稲、れんこんおよびじゅんさいに散布で使用する場合、混水状態で均一に散布し、散布後少なくとも7日間はそのまま混水状態を保ち、落水、かけ流しはしないで下さい。
- えだまめの育苗培土に混和処理する場合は、処理後速やかに使用して下さい。また本剤を処理した育苗培土を

- 放置しないで下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 取扱いには十分注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐きださせ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。また粉末を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手、顔などを石鹸でよく洗い、うがいをして下さい。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中および使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう周囲の注意を促して下さい。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。
- 散布日は水管理に注意して下さい。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。